

令和4年度 沖縄歯科衛生士学校 自己評価（歯科衛生士科）

評価	4:適切 3:ほぼ適切 2:あまり適切ではない 1:不適切	評価者	評価者:17名 学校運営委員7名、専任教員6名、指導教員2名、事務2名
----	-------------------------------	-----	-------------------------------------

教育理念

豊かな人間性を養い地域社会の健康と福祉に貢献できる歯科衛生士を育成する

学校教育目標	1. 幅広い見識と高い倫理観を持つ歯科衛生士を育成する
	2. 科学的根拠に基づき、歯科医療の高度化と社会環境の変化に対応できる歯科衛生士を育成する
	3. 資質向上のため生涯学び続ける意欲を持つ歯科衛生士を育成する
	4. 多職種と連携し、地域の健康増進に貢献できる歯科衛生士を育成する
重点努力目標	1. 歯科衛生士国家試験全員合格を目指す
	2. 医療人として健康管理や時間厳守といった自己管理ができる人材を育成する
	3. 歯科衛生士としての必要な知識・技術を習得できるように学習意欲の向上を目指す
	4. 自ら課題を探索し問題解決能力を持つ人材を育成する
	5. カリキュラム・施設設備の充実を図り環境整備を進める

大項目	評価項目	前期評価	後期評価	第1回 学校関係者評価委員会 R4.12月実施 成果、課題と今後の改善方策(前期)	第2回 学校関係者評価委員会 R5.2月実施 成果、課題と次年度(今後)の改善方策(後期)
I 教育理念、 目的、 人材育成像	1. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4.0	4.0	<b>【成果】</b> ・学校のLINE公式アカウント並びにInstagramを開設。 ・32期生より卒業記念として教育理念の掲示パネル(講堂、教室)を寄贈し設置。	<b>【成果】</b> ・Instagramを開設し、投稿を行っている。 ・教育理念を唱和する学生が出てきた。
	2. 学校における職業教育の特色を示しているか	4.0	3.9		
	3. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.8	3.7	<b>【課題】</b> ・学校の教育理念、教育目標等を保護者に対するの周知が不十分である。	<b>【課題】</b> ・学校の教育理念、教育目標等を保護者に対して、周知が十分ではない。
	4. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・保護者等に周知がなされているか	3.2	3.3	<b>【改善方策】</b> ・SNSを活用し、保護者等に周知していく。	<b>【改善方策】</b> ・入学案内パンフレットや封筒等の印刷物へ教育理念、教育目標を掲載する。
	5. 教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向付けられているか	3.8	3.9		
II 学校運営	1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9	3.8	<b>【成果】</b> ・運営方針に沿った事業計画を策定した。 ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化し、有効に機能している。	<b>【成果】</b> ・運営方針に沿った事業計画を策定。 ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化し、有効に機能している。
	2. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.8	3.9		
	3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	3.8	3.8	<b>【課題】</b>	<b>【課題】</b>
	4. 人事、給与に関する制度は整備されているか	3.3	3.4	・HPの改善と活用への取り組みが不十分である。	・HPの改善と活用への取り組みを充実させる。
	5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.6	3.7	・学生の出席状況等のシステム化が不十分である。	・学生の出席状況等のシステム化が不十分である。
	6. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.4	3.4	<b>【改善方策】</b>	<b>【改善方策】</b>
	7. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.9	2.9	・出席状況等の学生管理システムを構築していく。	・出席状況等の学生管理システムを構築していく。

大項目	評価項目	前期 評価	後期 評価	第1回 学校関係者評価委員会 R4.12月実施 成果、課題と今後の改善方策(前期)	第2回 学校関係者評価委員会 R5.2月実施 成果、課題と次年度(今後)の改善方策(後期)
III 教育活動	(目標の設定等)			<b>【成果】</b> ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等を策定している。	<b>【成果】</b> ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等を策定している。
	1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が、策定されているか	3.9	3.9	・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保を明確にしている。	・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保を明確にしている。
	2. 教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.9	3.8		
	(教育方法・評価等)			<b>【成果】</b> ・昨年度に引き続き、学生に対し授業評価を各教科の講義、実習終了後に実施した。	<b>【成果】</b> ・前期に引き続き、学生に対して授業評価を各教科の講義、実習終了後に実施した。
	3. カリキュラムは体系的に編成されているか	4.0	3.8	・授業評価の結果を個別に講師へ開示した。	・授業評価の結果を個別に講師へ開示した。
	4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.6	3.6	<b>【課題】</b> ・外部関係者(講師)への評価の未実施。	<b>【課題】</b> ・外部関係者(講師)への評価の未実施。
	5. 授業評価の実施・評価体制はあるか	4.0	4.0	<b>【改善方策】</b> ・外部関係者(講師)への評価方法を検討する。	<b>【改善方策】</b> ・外部関係者(講師)への評価方法を検討する。
	6. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4.0	4.0		
	(資格試験)			<b>【成果】</b> ・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけを行っている。(1年次から国家試験過去問題の課題を実施、3年次の国家試験対策講座の実施。)	<b>【成果】</b> ・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけを行っている。(1年次から国家試験過去問題の課題を実施し、3年次には国家試験対策講座を実施している。)
	7. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.7	3.9		
(教職員)			<b>【成果】</b> ・関連分野における業界と連携し、非常勤講師として講義、実習を依頼している。	<b>【成果】</b> ・関連分野における業界と連携し、非常勤講師として講義、実習を依頼している。	
8. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.3	3.3	・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための研修費を予算計上し、積極的な研修会等への参加を促している。	・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための研修費を予算計上し、積極的な研修会等への参加を促している。	
9. 関連分野における業界との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3.4	3.0	<b>【課題】</b> ・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員について、今後も教員確保は必要。 ・人材確保のみでなく、多忙な職員業務の改善に向けて今後も問題点の抽出を行う。	<b>【課題】</b> ・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員については今後も確保が必須。 ・人材確保と併せて多忙な職員業務の改善に向けて今後も問題点の抽出を行う。	
10. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.2	3.4	<b>【改善方策】</b> ・職員業務の改善への取り組みを今後も検討する。	<b>【改善方策】</b> ・職員業務の改善への取り組みを今後も検討する。	
IV 学修成果	1. 就職率の向上が図られているか	3.9	3.9	<b>【成果】</b> ・令和3年度就職率97.6% ・令和3年度資格取得率97.6% ・令和4年度:休・退学者無し(令和4年度1名復学)	<b>【成果】</b> ・令和3年度就職率97.6% ・令和3年度資格取得率97.6% ・令和4年度:休・退学者無し(令和4年度1名復学)
	2. 資格取得率の向上が図られているか	3.8	3.9	<b>【課題】</b> ・卒業後のキャリア形成への効果について、十分に把握出来ていない。	<b>【課題】</b> ・卒業後のキャリア形成の効果について、学校の教育活動への活用が充分ではない。
	3. 退学率の低減が図られているか	3.9	3.8	<b>【改善方策】</b> ・卒業後のフォローアップ研修等を歯科衛生士会と連携し、キャリア形成の効果を把握していく。	<b>【改善方策】</b> ・卒業後のフォローアップ研修等を歯科衛生士会と連携し、キャリア形成の効果を把握し、教育活動への活用を検討する。
	4. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.4	3.3		

大項目	評価項目	前期評価	後期評価	第1回 学校関係者評価委員会 R4.12月実施 成果、課題と今後の改善方策(前期)	第2回 学校関係者評価委員会 R5.2月実施 成果、課題と次年度(今後)の改善方策(後期)
V 学生支援	1. 就職に関する支援体制は整備されているか	3.9	4.0	【成果】 ・学生支援(就職、学生相談、健康管理等)については、担任を通して学生の状況を把握し、教務課全体で対応している。  【課題】 ・編入学等の規定についての詳細な検討が必要。  【改善方策】 ・編入学等の詳細について規定を検討していく。	【成果】 ・学生支援(就職、学生相談、健康管理等)については、担任を通して学生の状況を把握し、教務課全体で対応している。  【課題】 ・卒業生への支援体制が不十分  【改善方策】 ・以前に行っていた卒業研修会の開催を検討する。
	2. 学生相談に関する体制は整備されているか	3.9	4.0		
	3. 保護者と適切に連携しているか	3.8	3.8		
	4. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.9	3.9		
	5. 学生の健康管理を狙う組織体制はあるか	4.0	4.0		
	6. 卒業生への支援体制はあるか	3.3	3.4		
	7. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.4	3.6		
VI 教育環境	1. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.1	3.1	【成果】 ・令和4年度臨床実習施設の公募を行い、追加申請。	【成果】 ・令和4年度臨床実習施設の公募を行い、追加申請を行い、承認された。
	2. 学内外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか	3.6	3.6	【課題】 ・高額機器の経年劣化対応	【課題】 ・高額機器の経年劣化
	3. 防災に対する体制は整備されているか	3.2	3.3	【改善方策】 ・減価償却積立の予算化	【改善方策】 ・減価償却積立の予算化
VII 学生募集	1. 高等学校等、接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3.6	3.5	【成果】 ・次年度入学の学生募集入学案内パンフレットで男子学生を掲載し、男子の入学が可能であることの周知を行った。  【課題】 ・次年度入学の学生募集入学案内パンフレットで男子学生を掲載し、男子の入学が可能であることの周知を行った。	【成果】 ・次年度入学の学生募集入学案内パンフレットで男子学生を掲載し、男子の入学が可能であることの周知を行った。
	2. 学生募集活動は、適正に行われているか	3.8	3.6		
	3. 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3.8	3.8		
	4. 学生納付金は妥当なものとなっているか	3.8	3.8		
VIII 財務	1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.8	2.8	【成果】 ・財務については税理士による定期的な監査を受け、適正に処理を行っている ・財務情報公開及び修学支援制度における情報公開を実施している。 ・令和5年度入学者より授業の値上げを行った。  【課題】 ・予算・収支計画について以下を検討する。 1.校舎の老朽化や機器の経年劣化等による設備整備費にかかる支出の増加 2.今後迎える18歳人口の減少における定員の充足率の向上と維持。  【改善方策】 ・施設・設備に対する予算を計上し整備を行っていく。	【成果】 ・財務については税理士による定期的な監査を受け、適正に処理を行っている ・財務情報公開及び修学支援制度における情報公開を実施している。 ・令和5年度入学者より授業の値上げを行った。  【課題】 ・予算・収支計画について以下を検討する。 1.校舎の老朽化や機器の経年劣化等による設備整備費にかかる支出の増加 2.今後迎える18歳人口の減少における定員の充足率の向上と維持。  【改善方策】 ・施設・設備に対する予算を計上し整備を行っていく。
	2. 予算・収支計画は適切なものとなっているか	3.3	3.2		
	3. 財務について会計監査が適正に行われているか	3.8	3.8		
	4. 財務情報公開の体制整備はできているか	3.6	3.5		

大項目	評価項目	前期 評価	後期 評価	第1回 学校関係者評価委員会 R4.12月実施 成果、課題と今後の改善方策(前期)	第2回 学校関係者評価委員会 R5.2月実施 成果、課題と次年度(今後)の改善方策(後期)
IX 法令等の遵守	1. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0	3.9	【成果】 ・法令・専修学校設置基準の自己点検を行い、適正な運営の実施を行っている。 ・個人情報保護については設置法人に準じている。 ・2019年度より学校自己評価を行い、HPに公開し問題点の改善に努めている。	【成果】 ・法令・専修学校設置基準の自己点検を行い、適正な運営の実施を行っている。 ・個人情報保護については設置法人に準じている。 ・2019年度より学校自己評価を行い、HPに公開し問題点の改善に努めている。
	2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.9	3.9		
	3. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.7	3.9	【課題】 ・学生、講師等に対し、SNS等での個人情報の対策	【課題】 ・学生、講師(臨床実習施設含む)等に対し、SNS等での個人情報についての周知が不十分
	4. 自己評価結果を公開しているか	3.9	3.9	【改善方策】 ・学生、講師に対し、SNS等の取り扱いについて注意を促す。	【改善方策】 ・学生、講師に対し、SNS等の取り扱いについて注意を促す。
X 社会貢献・ 地域貢献	1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	2.8	2.9	【成果】 ・歯科衛生士会主催の研修会や会議等で学校施設の開放を行った。 ・式典(入学式)の際、在校生に受付、誘導、駐車場係等のボランティアを依頼した。  【課題】 ・コロナ禍により外部のボランティア活動が困難。	【成果】 ・歯科医師会や歯科衛生士会主催の研修会、会議等で学校施設の開放を行った。 ・歯科衛生士会主催の「いい歯の日」イベントへ学生がボランティアで参加した。  【課題】 ・コロナ禍により外部のボランティア活動が減少。
	2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.0	3.2	【改善方策】 ・校内でできるボランティア活動を募る。	【改善方策】 ・新型コロナウイルス感染症の状況によりボランティア活動の受け入れを検討する。
<p>その他所見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を短期、中期、長期にみた場合、新型コロナウイルス感染症が落ち着くと解決するものと対応して直ぐに評価が上がるものと時間がかかるものを精査しておくとい。</li> <li>・評価「1」、「2」をつけた評価者にその理由を記載してもらうことで改善策が検討しやすくなる。</li> </ul>					